

交通安全市民会議ニュース 8月号



交通事故から子どもを守りましょう



子どもは、興味があることに夢中になると周囲の状況が目に入らなくなり、危険かどうかの判断ができなくなってしまいます。

特に、道路でのキックスケーターや、ボール遊びなどは飛び出しの原因となり、保護者の責任において、広場などの安全な場所で遊ばせるようにしましょう。

夏休みになり、子どもたちの行動範囲は家庭や学校以外にぐんと広がります。保護者の目の届かないところで交通事故に遭わないよう、子どもと一緒に交通安全について考えましょう。



1. 道路を渡る時は横断歩道を渡りましょう。
2. 信号が赤の時はとまり、青の時は右と左をよく見て、車が来ていないかを確かめてから渡りましょう。
3. 道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確かめましょう。
4. 道路や車のそばでは、絶対に遊ばないようにしましょう。
5. 道路には飛び出さないようにしましょう。

(警視庁 HP から)

道路には危険がたくさんある事を繰り返し教えて、悲しい交通事故から子どもを守りましょう！



夏の交通安全市民運動を実施しました



夏の交通安全市民運動期間（7/11～7/20）中の全市一斉街頭活動の一部をご紹介します。

11日に行われたこの街頭活動では、自治区や事業所の方などが大勢参加し、通行車両等に交通安全を呼びかけました。



その他にも、各自治区、企業、団体のみなさまには、各地で交通安全啓発活動を展開していただきました。ご協力ありがとうございました。

ドライバーのみなさんへ ～夏の安全運転について～

夏はその開放感から、スピードをあげた運転や飲酒運転を招きやすい季節です。また、暑さにより自覚のないうちに疲労がたまり、事故につながることも考えられます。「無謀な運転はしない」

「疲れたら早めの休憩を」などに心がけ、安全運転に努めましょう。



「歩行者保護モデルカー活動」実践3項目
 速度遵守・・・制限速度を必ず守る
 ハイビームの活用・・・ライト点灯時はハイビームを活用する
 歩行者優先・・・横断歩道で歩行者を見たら必ず“止まる”

【発行】
 豊田市交通安全市民会議事務局
 （豊田市役所交通安全防犯課内）
 Tel.0565-34-6633

